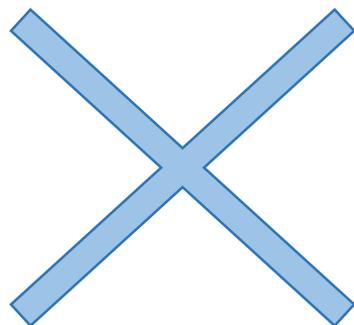
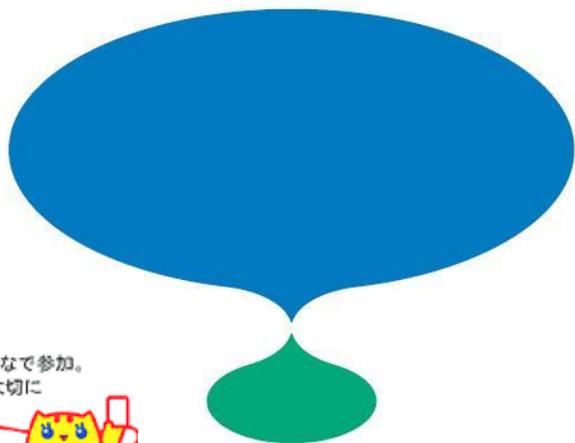


湖南省選挙管理委員会×滋賀県立〇〇高等学校

選挙学習（選挙管理委員会出前授業）

～若者の投票率向上～



〇〇
高校

まずはじめに、最近の選挙の傾向は？

～若者の投票率について～

- 平成28年の公職選挙法の改正により、選挙に参加できる（投票ができる）年齢が18歳以上に引き下げられました。

しかしながら、若者の投票率は……

18～20歳 35.2 %

21～30歳 31.3 %



➤ 若者の投票率の向上 を図ることが、近年の選挙の課題。

【参考】令和4年7月10日 滋賀県知事選挙 年代別投票率

(湖南市第26投票区投票率抜粋)

	有権者数	投票者数	投票率
18歳～20歳	34	12	<u>35.2%</u>
21歳～30歳	102	32	<u>31.3%</u>
31歳～40歳	121	53	43.8%
41歳～50歳	174	78	44.8%
51歳～60歳	159	94	59.1%
61歳～70歳	144	92	63.8%
71歳以上	356	229	64.3%

➤他の年代と比べても、若者の投票率は、**低い傾向。**

若者の投票率が上がらない理由は…

18-29歳の投票棄権理由（上位2つ）を見てみると…

- 選挙にあまり関心がなかったから 46.7%
（※50・60代は、30.7%）
- 仕事があったから 37.8%

（第49回衆議院議員総選挙全国意識調査（総務省）から引用）



選挙権がない年齢のうちから、児童・生徒の選挙の知識・関心を深め、投票意欲を向上させる必要がある。

選挙学習について

■ 若者の投票率向上に向けた取組みの一つとして、
湖南省選挙管理委員会と湖南省内の高等学校で連携し、
次のとおり、体験学習を実施する。

- 
- ① 選挙そのものについての理解を深めるため、
☞ 「湖南省選挙管理委員会による **出前授業**」
 - ② 選挙を疑似的に体験し、選挙への興味関心を高めるため、
☞ 「**模擬選挙**（オンライン投票も可）」

① 湖南省選挙管理委員会出前授業

選挙に関する基礎的な知識や、若者の投票率などを学習してもらい、若者の選挙への参加を促進することを目的に、湖南省選挙管理委員会が学校に出向き出前授業を実施する。

【授業テーマ（案）】

- ① 選挙の基礎について
- ② 若者の投票率について

めいすいくん
(明るい選挙イメージキャラクター)



見てネ!

② 模擬選挙

選挙を疑似的に体験してもらうため、学校内で「模擬選挙」を実施する。実施形式は次の2通りが可能なので、授業時間等にあわせていずれかを選択する。

1. オンライン投票形式

※実際の選挙では、オンライン投票はできません。



2. 模擬投票形式

※当日、選挙備品を選挙管理委員会から貸出します。



体験学習実施フロー

－約2～3か月前－

打合せ

- 授業対象の確定
- 実施日時 of 相談
- 実施場所の確保

－約1～2か月前－

事前準備

- 授業資料の作成
- 備品の用意
- 学校内周知

－約1週間前～前日－

直前準備

- 模擬投票（オンライン投票）資料の配布
- 資料・手順等最終確認
- 会場・備品準備

－実施日当日－

実施

- 授業実施
- 模擬選挙実施
(投票から開票まで)
※模擬投票形式の場合
- 後片付け

※体験学習終了後、参加した生徒に、簡単な
アンケート調査への協力をお願いします。

体験学習実施イメージ（当日）

授業前：使用機材動作確認等、事前準備（15分）



授業①：選挙管理委員会出前授業（20分）



授業②：生徒グループワーク or 模擬選挙（模擬投票）実施（30分）



授業後（ホームルーム等）：アンケート調査実施

選挙管理委員会と学校の役割分担

選挙管理委員会

- 授業資料の作成
- 授業の実施
- 選挙備品の貸出
- 会場設営

学校

- 会場の確保
- 生徒への周知
- 資料の配布
- 会場設営
- アンケートの実施

その他（相談事項など）

- 報道機関が撮影・取材に来られる場合がありますので、受入可否や対応について、事前に決めておく必要があります。
- 単なる模擬選挙ではなく、実際に校内の何かを変えられるような選挙にできれば生徒の興味も高まるかと思えます…
（何かしら面白い案があれば、教えてください。）
- 体験学習の実施にあたり、選挙の各種事務を、生徒の皆さんにお手伝いをお願いする可能性があります。（例：会場の設営、選挙当日の投票・開票事務作業など）